

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	小谷村観光地情報発信事業
事業主体 (連絡先)	小谷村スキー場地区再生協議会 (0261-82-2585)
事業区分	6-(ア) 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	550,800円 (うち支援金: 413,000円)

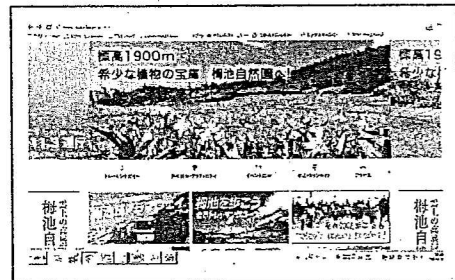
事業内容

○観光地における情報の共有化と一元的な情報発信

梅池高原地区には観光協会、自然園管理事業者、索道事業者など様々な分野の観光関係団体が協働し事業を展開しており、各団体企業などが一体となり梅池高原全体の更なるアピールを目指し、相互の情報の共有化や効率的な情報発信を行うことにより、お客様に対して即時性のある、より親切で細やかな案内が可能となる。

○多様化した情報収集端末への対応

観光地などの情報収集端末もスマートフォン等多様化しており、この多様化に対応した情報発信を行い、多くのお客様へ当該地域をPRし誘客に繋げた。



【梅池高原ホームページ】

【目標・ねらい】

- ①関係機関が連携し、情報の共有と一元的な情報発信
- ②顧客ニーズに沿った情報発信
- ③多様化した情報収集方法や端末への対応
- ④即時性のある情報発信

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①新規ユーザーからのアクセスが増加となったことから、より多くのお客様へ当該地域のPRが行えた。また、モバイル等の端末における閲覧が約半数を占める結果となり、多様化する情報収集方法への対応を行うことができた。
- ②本整備事業に併せ、地域の観光団体の負担により、英語版のサイトの構築を並行して実施。また、企業による梅池自然園ホームページもリニューアルを行い、新たな機能を追加するなど、本事業実施に伴い民間企業や団体において新たな情報発信の構築が行われた。

※自己評価【B】

【理由】

本事業に併せて、地域で英語版の作成を実施。また、新規ユーザーからのアクセスが増加となったが、夏季の天候不順や中央西線不通などの影響から梅池自然園入込に関しては前年比80%の結果となった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・地域の観光関係者が一体となった運用により迅速で効率的な情報発信を行い、当該地域の魅力を伝えるとともに、お客様に対してきめ細やかな情報を発信し誘客に繋げる。
- ・閲覧状況を把握・分析し、顧客ニーズに合ったHP作りを継続して行う。また、情報発信の内容や在り方について検討を行う。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある